

模擬 GSV 事例・概要

1. プロフィール

- 1 氏名：緒之 美知太郎（おの みちたろう）（男性）
- 2 年齢：38 歳
- 3 障害状態：軽度知的障害（療育手帳 B）
発達障害（精神保健福祉手帳 2 級）
障害支援区分 3

2. 相談までの経緯

小・中学校は普通級に在籍。友達は少なかった。学力は低かったが、歴史など特定の分野の成績は良かった。

中学卒業後、養護学校への進学を担任は勧めたが、両親の強い希望があり、地方の全寮制の高校に入学する。入学当初から新しい環境に馴染めず、「帰りたい」と、学校や両親に訴えていた。学校や寮でいじめもあったようで、実家に帰りたいという思いが強くなり、夏休みを契機に学校に戻れなくなってしまい自主退学となった。

退学後、両親の「つて」でいくつかのアルバイト（養護老人ホーム、パン屋、工場など）をするが、どれも長続きせず（養護老人ホームでの半年が最長）、自宅に引きこもりがちになってしまう。その頃、行政や子供家庭センターに相談し療育手帳を取得。その後、間もなく父が急死。母が本人の生活面をすべて支援することになる。家庭での生活は乱れがち（免許ないのにバイクを購入、一人で出かけて 2～3 日帰ってこない、母に暴言、時に暴力あり）であった。

母の説得もあり、精神科病院に通院ができ、発達障害の診断を受け、精神障害保健福祉手帳を取得した。また同時期に、基幹相談支援センターにも相談に行った。しかし、福祉サービスや家族以外の支援には繋がらなかった。ただ、中学校の時の同級生とは連絡をとりあっており、時に食事などには出かけていた。

本人が 30 歳の時に母が認知症を発症。母へ支援に入った介護保険事業所より相談支援事業所に連絡が入り、「本人の生活面が不安」との相談を受ける。介護保険事業所とも連携しながら、家族の支援を検討開始するが、本人の拒否が強く会えない時期が続く。そんな時、本人が近くに住む親せきとトラブルにより（お金を引き出しに行った時、ATM の利用はできるが、ATM が調整中で利用できなかった。窓口でお金を引き出した経験がなく、親戚の所にお金を借りに行った時に、うまく交渉ができず、手を挙げてしまった。結果、警察が介入し、拘留されている時に、初めて相談支援専門員が本人に会うことができた。その後、関りを少しずつ受け入れてくれるようになった。

本人との面接や外出の機会をつくりながら、信頼関係の構築を行っている中、母の認知症が進行し、**高齢者専用賃貸住宅**への入居が決まる。本人は、「在宅で単身生活をするのは当面難しい」という思いから、相談支援専門員と相談の上、グループホームを利用することにした。

3. サービス等利用計画における総合的な援助方針

グループホームに入居して、調理や家事などを支援員と一緒にいき、できるようになる。さらに、余暇の充実や興味のある学習の機会など、生活の幅を広げていけるよう支援を進める。また、就労継続支援 B 型事業所を利用して、良好な人間関係を築くことができるように支援する。

4. 就労継続支援 B 型事業所などでの支援経過

就労継続支援 B 型事業所は、軽作業を主に取り組みながら、調理のプログラムや外出のプログラムなど、余暇支援も充実しており、本人にとっては馴染みやすかった。最近、軽作業では物足りなくなってきた、「一般就労したい」という意欲が高まってきた。事業所では特定の利用者とトラブルはあるが、信頼できるスタッフもでき、自分の思いを伝えることが出来るようになってきた。毎日ほぼ休まず通所することができている。

本人は歴史が好きということで、同市にある歴史民俗資料館で働きたいという思いが強くなっている。そのため、歴史の勉強がしたいというニーズがある。また、両親が建てた自宅から近い場所にあるアパートは、本人名義で賃貸にしており、家賃収入も生活費となっているが、1 部屋の住人が退去することになり、自分もそこに住みたいという思いが強くなっている。余暇の充実としては、歴史が好きなことから京都・奈良への旅を希望している（以前、2～3 日家を留守にした時は、京都に行っていたよう）。

共同生活援助と就労継続支援 B 型事業所を利用して約 1 年が経過し、生活に慣れた様子で、本人からは「自宅のアパートで一人暮らしがしたい」という意向が出ている。

5. サービス等利用計画に見直し

以前は自分の気持ちや思いをうまく伝えることが苦手で、また周りで起こっていることも分かりにくい環境であったが、グループホームや就労継続支援 B 型事業所のそれぞれで、自分の思いや希望を少しずつ伝えることができるようになった。また、周りの変化なども丁寧に説明をしてもらえる環境になり、本人のニーズが明確になってきたので、サービス等利用計画の見直しを行うことになった。本人の希望を実現していくためには、支援方法についてストレングス・アセスメント票を作成し、GSV を行い、支援の方向性を協議する。

6. アセスメント状況 ※別紙ストレングスアセスメントシート参照

◆ストレングス・アセスメント票

氏名：緒之 美知太郎 様

書き出し【●】本人の言葉 【○】家族や支援者の言葉 【・】事実や行動（社会資源等）

A. 現在のストレングス 私の今のストレングス 個人：環境	B. (未来の) 希望：願望：熱望 何がしたいか、何がほしいか	C.過去の資源 どんなストレングスを使ってきたか
家・生活環境（住居、日常生活、移動手段、行動範囲など）		
・グループホームに入居 ・電車やバスなどの利用ができる（イコカ利用可能）。 ●健康のため駅を使う時は歩いて行ってます（20分）。 ・最寄りのバス停までは10分。 ●休日は友人と外食したり、母に会いに行ったりしています。 ○GH 共有部分の掃除や自室の掃除は、世話人さんと一緒にしている。 ・携帯電話を持っており、電話やメールのが利用できる。	●自分のアパートで一人暮らしがしたい。 ●パソコンが欲しい。 ●旅行に行きたい（京都・奈良）。できれば誰かと一緒に楽しみたい。 ●就職のため資格が欲しい。 ●歴史の勉強がしたい。	・父と母と3人で暮らしていた。 ・全寮制の高校で半年生活していた。洗濯や掃除もしていた。 ・実家では全て母がしてくれていた。 ・バイク（50CC）に乗っていた。
経済状況		
・障害年金と家賃収入で月に20万円程度収入あり。 ・父が残してくれた預貯金がある（1000万円）。	●就労して貯金を増やしたい。	●昔していたアルバイトで、月額10万円位ももらったことがある。 ●前は何か欲しいものがあれば、母がお金くれていた。
日中活動（就労、教育、専門知識、通所、通学含む）		
●就労継続支援 B 型事業所に週に5日通っています。 ●学生の時から歴史が好きです。今、一番興味があります。	●自動車の免許が欲しい。 ●パソコンが使えるようになりたい。 ●歴史の勉強や考古学を学びたい。 ●母の見舞いには毎週行きたい。	●仕事をしていたことがある（老人ホーム、パン屋、工場）。 ●一人旅（京都や奈良）には、よく行っていた。 ●旅行の計画を立てるのも好き。
社会的支援（家族、友人との関係、所属、サポートネットワークなど）		
●中学の時から友人と今も食事に行ってます。 ●親類はいるが連絡はしていません。 ●B 型事業所に仲の良い人がいます。 ●B 型事業所のスタッフにはいろいろ相談しています。 ●相談支援専門員さんも2週間に1回程度、様子を見に来てくれます。 ●母のいる施設の職員さんとも仲は良いです。	●今、関わってくれている人はこれからも大切にしたいです。 ●旅行に一緒に行ってくれるような友人が欲しいです。 ●日本の歴史について勉強し、語り合いたいです。 ●就職して、上司と部下という関係を体感したい。名刺を交換したいです。	●家族以外で信頼できるのは、中学の時の福山君と三原君だけだった。

・母は特養に入所中。		
健康状態（快適な状態、受診など医療を含む）		
●成人病になっちゃいました（メタボ）。 ・備後病院精神科に月に1回通院。 ●歩くのが好きなので、健康のためにも歩くようにしています。	●健康でいたいです。	・今まで大きな病気はしたことがないが、高校生の時に急性腎炎といわれた。
余暇活動（趣味、レクリエーション）		
●天気の良い日には歩いています（2時間から3時間歩くこともあります）。 ●母のお見舞いには必ず行っています。 ●歴史の本を見ている時、勉強をしている時は楽しいです。 ●大河ドラマは勉強になりますよ。 ●Carpの試合は見ます。 ●卓球が好き。中学の時は得意でした。またしたいなあ。	●旅行に行きたいです。 ●日本の歴史の勉強がしたいです。 ●バイクにまた乗れたら良いなあ。 ●Carpが好きなので、野球を見に行きたいです。 ●卓球の練習を頑張って、スペシャルオリンピックスに出場したいです。	●一人で神社や仏像などを見て回っていました。 ●家族で旅行（年に2回位は行っていました（その時は楽しかった）。 ●大河ドラマは欠かさず見ていた。
文化、生きがい、（大事にしていること、人生観、家族観、価値観）		
●親や友人を大切にしています。 ●「感謝」という言葉が好きです。 ●歴史は面白いですよ。	●母にしっかりとした姿を見せたい（バリバリ働いている姿を）。 ●歴史の勉強はずっと続けたいです。 ●できれば人の役に立つ仕事がしたいです。 ●家族をもちたいです。	●母の入っている施設に行き、福祉や介護の仕事の大変さが分かり、一人では生きていけないと思った。
私の希望・願望の優先順位		
1 自分のアパートで一人暮らしがしたい		
2 また卓球がしたい		
3 歴史民俗資料館で働きたい		
4 誰かと旅行に行きたい		